



関中学校だより

第5号 平成30年12月25日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-kyo.ed.jp/>

具体的目標を設定しよう

校長 勝亦章行

平成30年度2学期が終わろうとしています。本日は、2学期の終業式です。練馬区の新たな3学期制では、2学期は、1学期終業式の翌日の7月21日～12月25日までの158日間。一番長い学期でした。夏から秋、そして冬に至る長い2学期。行事面で振り返ってみても、2年職場体験、連合陸上競技会、連合音楽会、合唱コンクール、1年練馬学習、2年東京学習、校内マラソン大会、中P連駅伝大会などがありました。そして2回の定期考査と。学習、行事、部活動、生徒会活動を通して、関中生は、多くのことを学び、成長した学期であったと思います。

明日から冬休みに入ります。平成30年から平成最後の平成31年へ。年をまたぐ冬休み。通知表をもらって今学期を振り返り、新年を迎えるに当たり初心に戻り、新たな目標を定めてほしいと思います。

さて、大谷翔平選手が、ア・リーグ最優秀新人賞に輝いたことは、皆さんもよく知っていると思います。日本人選手としては、イチロー選手以来、17年ぶり4人目の受賞でした。大谷選手がベーブ・ルース以来100年ぶりにメジャーリーグに現れた二刀流であり、その実力が評価されたからでしょう。その大谷選手は、花巻東高校1年生のときに、以下に示す目標達成表を作り、「ドラフトで8球団から1位指名」を達成するために、どのように頑張るのか、具体的な達成目標を作っていたのです。

大谷翔平が花巻東高校1年時に立てた目標達成表

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルコントロールをする	ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的をもつ	一喜一憂しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウント ボールを 増やす	フォーク 完成	スライダ のキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を 大切に使う	運	審判さん への態度	遅く落差 のある カーブ	変化球	左打者へ の決め球
礼儀	信頼 される人間	継続力	プラス思考	応援される 人間になる	本を読む	ストレートと 同じフォーム で投げる	ストライク からボールに 投げる コントロール	奥行きを イメージ

(注)FSQ、RSQは筋トレ用のマシン (出所)スポーツニッポン

*大谷翔平選手の目標達成表は、インターネットよりダウンロードしたものを活用させてもらっています。

12月・1月 行事予定

日	曜	予定
1	土	中P連主催「駅伝大会」
3	月	全校三者面談始、SC来校
4	火	心の相談員来校
7	金	SC来校
8	土	第二土曜授業、全校道徳
9	日	ボロ市
10	月	全校三者面談終、SC来校、ボロ市
11	火	心の相談員来校
12	水	生徒会各種生徒委員会
13	木	生徒会中央委員会
14	金	1年女子ダンス発表会、心の相談員来校、石神井台小6年来校
15	土	3年私立入試相談
17	月	生徒会朝礼、SC来校
21	金	大掃除、心の相談員来校
23	日	天皇誕生日(休日)
24	月	振替休業日
25	火	終業式、成績相談、服務研修会
26	水	冬休み始、成績相談、第17回生徒会長サミット
31	月	大晦日
1月		
1	月	平成31年、西暦2019年元旦
4	金	仕事始め、床清掃
7	月	成績一覽表調査委員会、冬休み終
8	火	3学期始業式、職員会議、心の相談員来校
11	金	心の相談員来校
12	土	第二土曜授業日、2年スキー教室保護者説明会、区生徒作品展始
14	月	成人の日(休日)
15	月	3年私立高推薦入試出願、心の相談員来校
16	水	指導室訪問(校内研修会)、区生徒作品展終
26	土	区書写展
27	日	区書写展
29	火	連合ダンス発表会

大谷翔平選手が花巻東高校1年生のときに、「ドラフト会議で8球団から1位指名を受ける」ためには、「体づくり」「コントロール」「キレ」「スピード160Km/h」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」が必要だと考えました。そして、例えば「人間性」を高めるためには、「感性」「愛される人間」「計画性」「感謝」「継続力」「信頼される人間」「礼儀」「思いやり」が必要であり、それを自分自身しっかりと日常生活や練習でやっていかなければならない。と考えました。

この大谷選手の目標達成表は、私たちにも活用できるものだと思います。私も「よりよい関中にする」という最終目標を立て、実際にやってみました。しかし、何とか8つは書き込むことができて、さらにその8つの目標を達成するための、さらに8つの具体的目標を定めることは、大変難しく全て書き入れることはできませんでした。私は、野球のことはよく分かりませんが、この大谷選手の目標達成表を一つみても、大谷選手のすごさを感じ入りました。天性だけでなく、並外れた努力があつての快挙だと思います。関中生の諸君、新年を迎えるにあたり、自分自身の最終目的、それを叶えるための8つの目標を考えると良いと思います。ぜひ、やってみてください。

後期生徒総会（11月19日）



香川生徒会長の挨拶（スローガンは、十人十色）



今年度二回目の後期生徒総会（体育館）



ステージ上の議長団と各種委員長



生徒総会議案書



各学級から事前に選ばれた質問者

生徒活動も後期になり、本校体育館で後期生徒総会が開催されました。この総会で、生徒会役員会、各種委員会の方針・活動内容が提案され、採択の結果、圧倒的多数で承認されました。

生徒会のスローガンは、「十人十色 ~みんなちがって みんないい~」です。

生徒会役員会の活動内容は、「先代までの活動内容を引き続き継続」「学校生活や各委員会活動の向上」

「先代までの活動内容を引き続き継続」

あいさつ運動、ベルマーク収集、ペットボトルキャップ収集、体育館開放を継続
ただし、関中をより良くするために改善すべき点は、随時改善する。

「学校生活や委員会活動の向上」

(1) あいさつ運動

(2) 募金活動

(3) 情報の発信

(4) ボランティア活動の活性化

(5) 意見箱の活性化

「自然な挨拶あふれる関中へ」

「思いやりのある関中へ」

「身近にある生徒会へ」(生徒会誌Dreamの充実)

「関中エコライフへ」

「意見が飛び交う関中へ」

各委員会のスローガンと関中活性化のためのキャンペーンは、次の通りです。

委員会名	スローガン	関中活性化のためのキャンペーン
3年学級委員会	全力疾走 ~笑顔で駆け抜ける~	終学活前の着席キャンペーン
2年学級委員会	無言実行	朝の予鈴着席キャンペーン
1年学級委員会	元気にはばたけ 関の翼	授業準備キャンペーン
整備委員会	関中スリーS (清潔、すてき、過ごしやすい)	置いていってよい物キャンペーン
保健委員会	手洗いうがいで元気百倍! ばいばい菌	風邪予防キャンペーン ~風邪をひいた人が少ないクラスを表彰します~
給食委員会	給食で、みんなの笑顔をつくります!	完食dayキャンペーン 片付けチェックキャンペーン
図書委員会	みんなが使いたくなるような 学校図書館へ	ハートタイムカード記入キャンペーン
放送委員会	蛍雪の功	昼放送聞こうキャンペーン 昼放送を静かに聞いていたクラスを記録し、回数は多いクラスにリクエスト放送の権利を差上げます
体育委員会	体育委員 PRIDE ~最高の SMILE~	外で遊びに行こうキャンペーン

生徒による落葉清掃 (11月20日~29日)



中庭の関中学校のシンボルである2本の榎(けやき)と落ち葉清掃をする関中生 落葉清掃の様子

今年も落葉清掃は、1年生は学級単位で実施し、最後の11月29日は、2・3年生の整備委員が行いました。さらに日々の落葉清掃は、民間用務業務を依頼している武翔さんが行ってくれますが、12月8日(土)には、PTAグリーンボランティアが、校庭の落葉清掃をやって下さいました。ありがとうございました。

ただし、今年は東京地方では、木枯らし1号が発生せず、落葉清掃期間中も中庭の榎は多くの葉を残した状態でした。そこで、落葉清掃終了後の12月以降は、部活動単位で落葉清掃を継続することにしました。

第17回PTA 連合協議会主催「中学校駅伝大会」 (12月1日 土曜日)

中学校PTA連合会主催の中学校駅伝大会が、大変よい天気の中、都立光が丘公園陸上競技場と公園内の道を使って行われました。

昨年度は、関中は男女とも2チームが出場しました。しかし、今年度は、残念ながら男子1チームの参加となりました。監督、練習、引率は、校長が行いました。男子Aチームは、三年生6人と二年生2人よりなり、三年生が正選手、二年生が補欠として出場。

関中男子Aチームは、出場チーム40チーム中、第29位でした。しかし、自分のベストを尽くし、関中学校の代表として走りきり、榎(タスキ)を最後まで途切れることなく、完走しました。また、補欠の二年生2人も個人走に出場し、三年生同様にベストを尽くしました。校長としても、自らの意志で参加してくれた8人の選手に感謝したいと思います。



男子駅伝スタート直後の様子



力走する、3年生の境くん（ゼッケン55番）
横でハンドマイクをもっているのは、本校高本PTA会長



駅伝大会終了後に、記念撮影（パチリ！）

全校道徳「北朝鮮による日本人拉致問題」(12月8日 土曜日)

関中学校では、12月4日～10日の人権週間の時期に、毎年、全校道徳を行っています。

今回は、北朝鮮による日本人拉致問題をテーマにしました。政府拉致問題対策本部が作成したアニメ「めぐみ」を視聴し、その後補足説明を校長が行いました。このアニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。「拉致」は、明らかな人権侵害です。人権について深く考える機会になったと思っています。また、いまだ解決していないこの問題を知ることも大切なことだと思います。



生徒の感想

北朝鮮の拉致問題のことは、あまり気にとめたことはなかった。北朝鮮が日本人に日本語を教えさせるために拉致したらしいということは知らなかったけれど、なぜ日本語を教えさせるのかということを知らなかった。なぜ拉致したんだろう、普通に日本人をスカウトすればいいのになどさえ考えていた。今回北朝鮮の推測される拉致理由を知って、とても身勝手だと思った。めぐみさんや横田さん一家には、何の関係もないのにと思った。遺骨をめぐみさんのものと偽って渡したことに腹が立った。でも一番腹立だしいのは今まで拉致問題を知ろうとしなかった自分だ。まだ帰って来ない被害者もいるのに半ば問題が既に解決したような気になっていた過去の自分が、早紀江さんの言葉を聞いてとても恥ずかしくなった。早く被害者を返してほしい。

実際に拉致問題について話を聞くと、恐ろしいことであり、家族の気持ちを同時に考えるととても辛く悲しいことだと感じました。テレビなどでそのようなニュースを見たとき他人事のように流していたけれど、今日の時間に深く考えたことで、日本国民として協力しなければならないことができました。また、そのような問題についても、しっかり理解して考えなければならないとも思いました。私は、国内の問題や世界の問題について、しっかり考えたことはないけど、これを機に考えたいと思います。

横田めぐみさんのアニメーションをみて、拉致問題が何の前触れもなく人に人生を大きく変えてしまうものだと思った。北朝鮮の拉致について、テレビでも報道されていたが、41年前のことだと知って驚いた。同時に41年もの間、この人権侵害の問題が、解決されず今も続いていることに怒りのようなものも覚えた。13歳の少女が拉致され関わりのない国で恐怖の中で過ごしているのかと思うと自分のことでなくても、これはすぐにでも解決しなければならないことであると強く思う。そして、国際社会の一員として一人一人が考え、感じなければいけないと思う。

歴史的にみても、日本と朝鮮半島との関係は戦争だったり植民地だったり良好な関係とは言えないけど、日本海を挟んだ隣国であり、旅行や修学旅行先にも人気な韓国とも近くにあるので、今回の拉致問題を知って不安になりました。国際連合もあるけど、まだ入っていない国もあるし、地球上のどこかで紛争は絶えず続いているから、世界平和は達成することの難しい課題だと感じました。私はもっと英語を勉強し、他国の韓国語やフランス語なども学習していきたいし、世界のことに目を向けて、良好なグローバル化が進む社会の一員になりたいと思った。

「めぐみ」を見て、そのような拉致事件が起こったことを初めて知りました。きっと残された家族はつらかったと思います。実際にそのようなことになってしまったら、とてもつらいし、何もかも諦めたくなくなってしまいます。そんな中、めぐみさんを助けようと今もなお努力し続けているめぐみさんの両親をとても尊敬します。

日本人としては、早く拉致されている人が日本に帰れるように全力をつくしたい。横田めぐみさんのお母さんが「北朝鮮を恨んだりはしていません。ただ娘を返してほしいだけです。」と言っていたのが心に残った。娘が北朝鮮に拉致されたのに北朝鮮を恨んだり憎んだりしていないのが、すごいと思った。日本と北朝鮮の関係が悪くなるとかいうのと、この拉致問題は全く別のもの。早く国としてこの問題を真剣に考えてほしい。それにこの拉致問題がある以上日本と北朝鮮の関係がよくなることはない。恨み合ったりしているだけでは何も変わらないと思う。

今回の授業の以前から、北朝鮮と日本の中で、拉致問題があると知っていましたが、それを完全に他人事としてしか考えておらず、自分のこととして考えていませんでした。しかし、今日の講習を受けて、拉致される可能性は誰にでもあり、それを一刻も早くなくするために政府をはじめ皆が努力しているのだと知りました。北朝鮮から無事日本へ帰って来られた人もいるし、まだどこにいるのか分からない人もいるという事実を、北朝鮮と日本の両方が知り、お互いに考えなくてはいけない問題だと思った。

今の自分と同じぐらいの時に奪われた人たちがいるのは、すごい悲しいことだと思う。早く北朝鮮から帰ってこれる状況が作れるようにしてほしい。拉致問題は、日本と北朝鮮だけの問題ではなく、世界の問題なんだということを知った。まだ12人の人たちが開放されていないので解決してほしいと思う。長い間自分を奪われてしまった人たちが自由になれるようにしてほしいと思う。自分にできることはよく分からないけど、日本人として拉致問題をしっかり受けて止めておきたいと思う。

拉致というのはいつ、どこで起きるか分からないもので、他人事と思っていたけれど、今回、本当に身近なことだと感じた。「他人」を自分と同じように考えると、色々な視点や色々な感情、それが自分に起きるかもしれないと思うと、いてもたってもいられなくなった。日頃の生活の中で暮らすで起こっているもめ事から、良い事まで全部自分に例えて考え、他人の気持ちを理解することが大切だと感じた。「自分の自由を奪われる」ことは想像できないけれど、奪われた人の家族はどう思うか、拉致問題を聞いてどうすればよいのかを考えていきたい。そして、今、北朝鮮によって拉致されている12人の人たちの分も新しい日本社会の中で精一杯生きていこうと心の底から思った。「他人事」を「自分」と考え、自分だったら何ができるか考えたい。

拉致は良くないと思った。自分が拉致されると考えながら見る事ができた。横田めぐみさんのご両親が、1400回以上も講演を行ってすごいと思った。それだけ助けたい、帰ってきてほしいと思っているのだと感じた。今から41年前のことだが、もう拉致がないわけでもないで、もう二度とこのようなことが起こらないような世界ができればと思った。一人、二人だと何もできないかもしれないけど、多くの人が力を合わせれば拉致問題などもなくせると思うので、今回の全校道徳をやってよかったと思った。忘れてはいけないと思う。

拉致について、今回学ぶことができて、本当によかった。以前母から拉致被害者が5人帰ってきた事を何らかの会話で聞いたことがある。「拉致」という聞き慣れない言葉だったので、あまり記憶にないのだが、今回の授業で拉致は、その人の自由を奪うものだを知り、驚いた。17人まだ5人しか帰っていないということを知り驚いた。その被害者のご家族が、1000回以上もめぐみさんの事や拉致問題の講演をしている知って驚いた。悲しくなった。拉致問題について、色々考えることができたと思う。

関のボロ市 本校PTA OB会「つばさの会」が出店(12月9日 日曜日・10日 月曜日)



関のボロ市



本立寺



関中「つばさの会」の出店

本校 PTA の OB 会であるつばさの会が、関のボロ市で今年も出店しました。このボロ市に合わせて毎年出店しています。

事前準備から本校 PTA の方も協力していただきました。また、本校 PTA の生活委員会ではパトロールをしてもらいました。ありがとうございました。多くの教員もこのパトロールに参加しました。

関のボロ市は、江戸時代から続いています。本立寺で日蓮宗の宗祖の命日に営まれる「お会式(おえしき)」に合わせて、毎年12月9日と10日に行われています。寺の門前には、賑やかな市がち、「年の市」、「暮れの市」、「お会式の市」とも呼ばれています。江戸時代には、ぼろ布や農機具、正月用品などが売られ、近くの農家の方が生活必需品などを購入していたと言われています。(練馬区ホームページより引用)

石神井台小学校 6 年生が来校しました (12月14日 金曜日)



2年生が小学生に説明をしている様子

毎年実施されていますが、石神井台小学校の6年生が来校しました。これは、小中一貫教育の一つの活動として実施しているものです。

まず、校長と副校長と木積先生が案内役となり、関中学校を案内しました。3年生は午前中授業で不在でしたが、1・2年生の授業見学と校内巡りを行いました。

その後、2年生の学級委員が、学校紹介をしました。その後、小学校6年生から関中学校への質問に答えました。

石神井台小学校6年生の多くの児童が、来春、関中学校に入学して来ます。実際の授業の様子や説明を聞いて、多少は入学への不安が解消したと思います。

税の作文の入賞者

税の作文コンクール

練馬西税務署長賞	3年	菊地
練馬区長賞	3年	加藤
練馬西納税貯蓄組合連合会会長賞	3年	石川
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞	3年	富田
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞	3年	中山

* 練馬西税務署長賞を受賞した菊地真優さんは、12月21日に一日署長となりました。

税の標語の入賞者

優秀賞「消費税未来を見すえたみんなの制度」 3年 林

佳作「日常を快適にする消費税」 3年 藤田

「いじめ防止標語」の関中学校代表の標語の紹介

練馬区教育委員会では、いじめ根絶のために毎年、いじめ防止実践事例発表会を開催しています。今年度は、いじめ防止標語の募集がありました。関中生全員に考えてもらい、各学年より一つの標語(計3つの標語)を練馬区教育委員会に送りました。素晴らしい標語です。紹介します。

1年生の部 1年C組作品 「気づいている? 軽い一言 重い傷」

2年生の部 2年B組作品 「今、いじめをやめれば 一瞬の恥 やめなければ 一生の恥」

3年生の部 3年B組作品 「その一言で 一生残る罪悪感 一生消えない心の傷」

第86回 全国書写展覧会 「団体・書・中学校の部 文部科学大臣賞受賞」



職員昇降口に飾ってある文部科学大臣賞と副賞の大筆



全国書写展覧会は、昭和6年に始まり今回で86回目の展覧会です。日本一の筆の産地である広島県熊野町で毎年開催されています。

関中学校は、毎年、国語科書写の時間等を活用して、全校生徒が応募しています。

日本の伝統文化である「書」に親しみ、正しく整えて書くことができることは、子どもたちが大人になっても大切なことです。現在は、PCで文書を作る時代になっていますが、手書き・直筆は味わいがあります。

こうした活動が評価された受賞と考えます。職員昇降口に賞状と副賞の熊野産の大きな筆を展示しています。ご覧下さい。

3年生全員を対象に、校長と副校長で面接指導を実施しました。

11月中旬より、3年生全員を対象に校長と副校長で面接指導を行っています。入学試験で面接試験がない高等学校もありますが、社会勉強の一つとして、3年生全員を対象に実施しています。一人15分間。礼儀作法、身だしなみ、話し方、姿勢、質問に対する内容等について指導しています。3年生の多くが大変緊張し臨んでいます。

3年生には、評価とコメントを渡しています。評価はABCDの4段階でつけていますが、全ての項目でオールAはなかなかいません。全体的に言えることは、声が小さい点が挙げられます。また高校への志望理由が抽象的なものが多く、さらに説得力ある志望理由を工夫改善した方がよい生徒も多くいます。

指摘した注意点を改善して、当日の面接試験では自分のよさを100%出し切って、志望校合格を勝ち取ってほしいと願っています。なお、年内には全員の面接練習が終わらない状況です。申し訳ないのですが、まだ面接練習をやっていない3年生は、来年早々に行う予定です。

インフルエンザに注意

これから益々寒く、かつ乾燥した天候となり、インフルエンザも流行期に入りました。年末年始の様々な行事で、人混み合うところに行くこともあると思います。十分な睡眠、三食しっかり食べる、水分補給もしっかりとる、うがいの励行、こまめな手洗い、適度な室温加湿・寒気、マスクの着用をしっかりと行って下さい。睡眠時間は、専門家によると7～8時間は必要とのことです。3年生は来年早々にも高校への入学試験があります。体調管理をしっかりと行って下さい。

無料通信アプリ（LINEラインなど）を介してのトラブルに注意して下さい。

スマートフォン（多機能携帯電話）などの無料通信アプリ（ラインなど）を介しての生徒間のトラブルが、社会全体でも問題になっています。

関中学校では、携帯電話やスマートフォンを学校に持ち込むことは「厳禁」です。

校外での使用により、行き違いや表現が不適切なために誤解が生じ、トラブルが発生してしまうことがあります。もちろん、悪意をもって相手を中傷誹謗する言葉を相手に送ることは、やってはいけません。悪意をもって写真や動画などを発信することも、人権侵害になります。子どもだから許されることもありません。

何かあれば学校へ相談して下さい。また専門の相談機関もありますので、紹介します。

東京都青少年・治安対策本部青少年課「こたエール」(電話：03-3500-5181)

生徒全員に、12月21日、「いじめなど、困ったときの相談は・・・」を配布しました。

冬休みに入る前に、練馬区教育委員会の指示により、様々な相談機関の電話番号が掲載されている「いじめなど、困ったときの相談は・・・(練馬区用)」を生徒に配布しました。

不審者出没 注意！ ～ すぐ「110番」通報をして下さい ～

不審者に遭遇したときは、すぐに「110」番通報を！

不審者への対応

- (1) 不審者に遭遇した時は、大声を出したりするなどして、すぐに逃げる。そして、誰でもいいので大人に知らせ、救いを求めること。
- (2) 歩いている時には、周囲の様子に十分に気を配ること。危険回避の力をつけること。「危ない！」と思ったら、その場から離れること。
- (3) マンション等のエレベータに乗る場合は、ボタンの近くに立ち、壁に背を向け、見知らぬ人が乗ってきたら降りること。
- (4) 何かあったときは、近隣の商店や家に知らせる。逃げ込む。そして、すぐに「110番通報」をすること。
- (5) 車に乗っている不審者に会った時には、車のナンバーを覚えておいて下さい。

成績相談について（12月25日 2学期終業式・26日 冬休み一日目）

2学期通知表を12月25日の終業式後に、各学級担任から配付しました。その後に、成績相談の時間を設けています。成績相談は、12月26日（冬休み1日目）も実施します。なお、12月26日は冬休みに入っているため、申し訳ないのですが、事前に学校に電話をしていただきますようお願いいたします。それからご来校していただければ幸いです。お手数をかけますが、よろしく申し上げます。

また、「評価・評定のつけ方、通知表の見方」のプリントも配布しました。ご活用下さい。

第二回校區別協議会（11月12日 石神井台小学校） 関中の先生が授業をしました。



長尾先生（美術科）が、6年生に授業をしている様子



片山先生（数学科）が、4年生に授業をしている様子

今回の第二回校區別協議会は、石神井台小学校で開催されました。関中学校グループでは、小学校中学校9年間を見通し、教科指導や児童生徒の交流などの連携を実施しています。

教科部会（国語分科会、算数数学分科会、外国語活動英語分科会、道徳分科会）交流部会が動いています。

本校の長尾教諭が石神井台小6年生に美術の授業を実施。これは、交流部会で小学校の図画工作科と美術科との交流として行いました。6年生が描いた一人一人の絵を長尾先生が寸評しました。小学校6年生は、長尾先生の話に聞き入っていました。

本校の片山主任教諭が石神井台小4年生に数学の授業を実施。これは、算数数学部会で、小学校算数科と数学科との交流として行われました。池の大きさ（長さ）を、「池の中に入らずに測定するにはどうするか」という問題でした。三角形の合同条件を応用する問題です。小学生一生懸命考えていました。

関中グループ（関中・関町北小・石神井台小）で、挨拶運動を実施

11月15日（木）と16日（金）の朝に、小学校と中学校で交互に朝の挨拶運動を行いました。

15日には、関中学校の生徒会役員が二つの小学校に出向いて挨拶運動を実施。16日は、二つの小学生の児童会役員らが関中学校に来て、挨拶運動を実施しました。小中一貫教育の活動として実施しました。



関中学校の正門に、石神井台小学校と関町北小学校の児童及び関中生が並び、関中生に朝の挨拶をしている様子

「練馬大根」を使った給食が、生徒に提供されました。（12月3日）



「練馬」というと「練馬大根」と言われるくらい有名な「練馬大根」です。今ではあまり栽培されなくなりました。現在はキャベツが多くなっています。

12月2日に開催された「練馬大根引っっこ抜き競技大会」で抜かれた大根が区内の全小中学校に配られました。関中学校では、12月3日「練馬大根一斉給食の日」に練馬大根を使った給食（練馬ごはん）を出しました。この日、事務室前に、練馬大根を展示しました。ご覧のように特徴は、その長さです。よって引き抜くのに大変！江戸時代から栽培されており、たくさん漬けに活用されました。

給食では地産地消を大事にしています。練馬大根、キャベツなどの練馬の特産品をつかったメニューを出すようにしています。